

佐伯市中心市街地地区（1期）

（大分県佐伯市）

計 画 期 間 平成 16 年度～20 年度
面 積 105ha
交付対象事業費 1,482.5 百万
市人口 80,737 人（地区内人口 5,096 人）

ポイント 旧城下町の回遊性の強化と交流機能強化

地区概要

交流拠点等の整備・運営による来街機会や滞留時間の増大、通りの環境整備による居住環境の向上により街のイメージを強め、個性強化と回遊性の向上による商業活動の活性化及び人口定着を図る。

目 標 中心市街地における賑わいの創出と、都市のシンボルゾーン形成を図る。

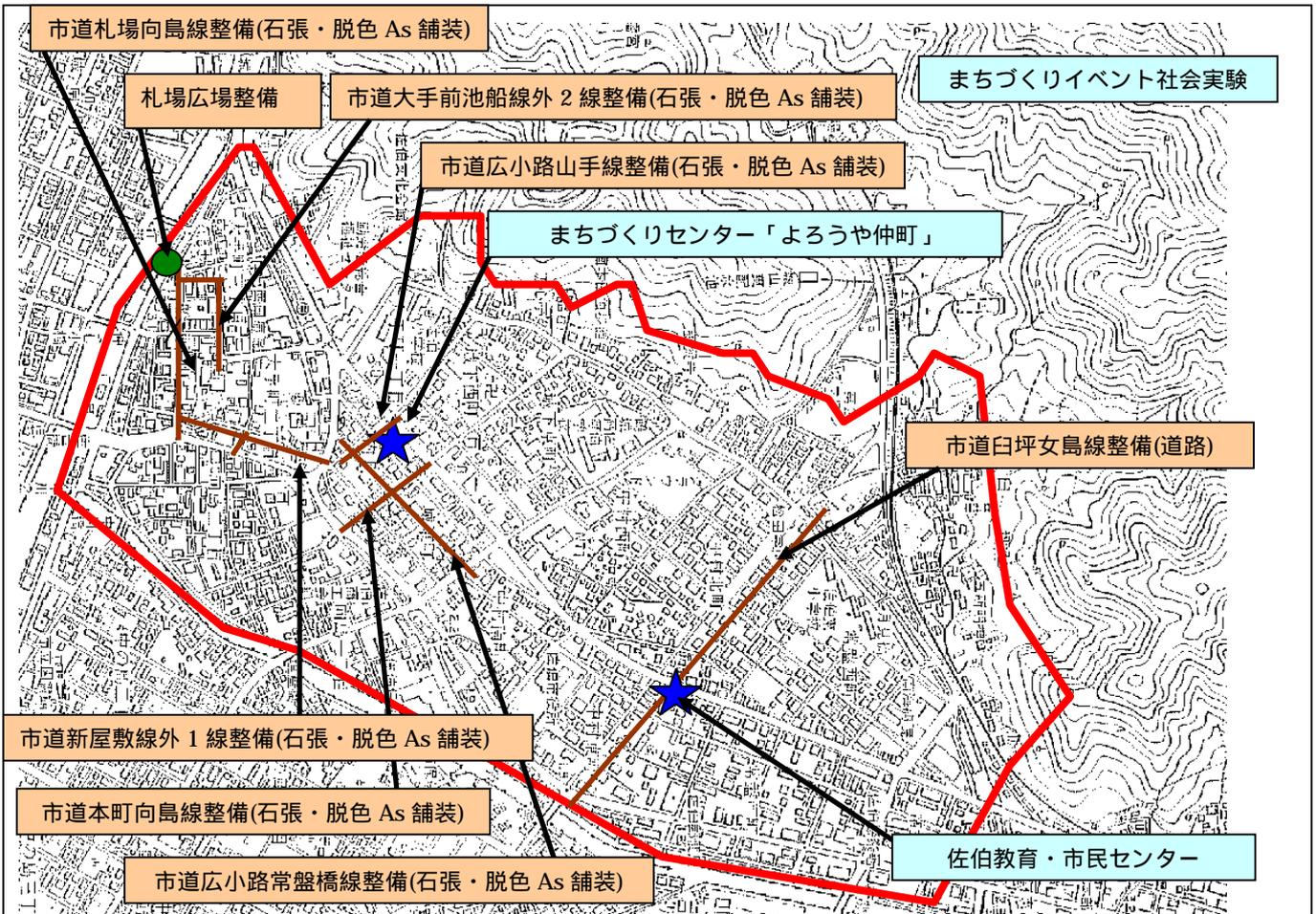
指 標 旧城下町の回遊性を強化するため、道路の石畳、公園等を整備することにより歴史的雰囲気的情緒

交流人口	130,160 (H15)	150,000 (H20)
まちづくり協議会への参加者数	114 (H15)	200 (H20)

ある城下町を演出し、観光客（交流人口）の増加を指標とした。また、各種整備及び基本構想策定において、住民参加による「まちづくり協議会」等を開催して協議、検討を行いながらまちづくりに取り組んできたので、まちづくりの気運をより一層醸成させるため、「まちづくり協議会」への参加者数を指標とした。

事業内容

基幹事業（1,304.2 百万円） 道路（幅員 18～19m、延長 600m） 道路石畳（幅員 3.2～6.0m、延長 1,455m） 公園（1 箇所、100m²）
提案事業（178.3 百万円） まちづくりセンター「よろうや仲町」（1 箇所、478m²） 佐伯教育・市民センター（1 箇所、1,473m²） まちづくりイベント社会実験



地区の現況と課題

佐伯市中心市街地地区は、山際周辺地区、仲町周辺地区及び大手前周辺地区に区域分けされ、江戸時代に「佐伯藩」として栄えた城下町です。山際周辺地区は、藩政時代の武家屋敷や街割りが多数残っています。仲町・大手前周辺地区は、商業集積エリアです。しかし、近年、街の魅力づくりの弱さ、少子高齢化、郊外店舗の立地等により、人口流出や商店街の衰退が著しくなっている。

基幹事業の特徴

道路

東九州自動車道から中心市街地内のアクセス道路として、地元住民と協議・検討しながら整備を行った。

高質空間形成施設

計画策定にあたり住民が主体となり、まち歩き及びワークショップを行い愛着の持てる道路整備を行った。整備後の管理についても、住民主体で取り組んでおり、工事完成に併せてイベント等を開催している。

地域生活基盤施設

江戸時代に札場、船着場として利用されていた歴史的背景を踏まえ、地域住民とワークショップを行い整備方針の決定をした。

提案事業の特徴

まちづくりセンター「よろうや仲町」

市民協働のまちづくりを目指し、市民活動をしている団体や個人、またこれから始めようとしている人をサポートするための施設として整備を行った。中心市街地の商店街の中に位置していることもあり商店街の賑わい創出にも寄与している。

佐伯教育・市民センター

各種の市民活動やサークルを担当する部・課を配置し、多くの市民の活用を図り、市民活動の活発化及び情報発信の場とする。

まちづくりイベント社会実験

まちづくり活動メンバーを中心として、大手前地区の求心力を調査するために、「佐伯まちなか夢市場～豊後舟盛祭～」を開催した。

計画策定プロセス

ワークショップの開催

地元住民（地区別協議会）及びまちづくり活動メンバー会議を開催し、ワークショップ形式で会議を行い、整備方針等を検討した。また、地区別協議会では、地域にあった景観整備をするため、各地区の通り別部会を月1回ペースで開催し、愛着の持てる道路整備について検討を行った。

まちづくり協議会の開催

地区別協議された内容等を、まちづくり協議会（全市民対象）に提案し広く中心市街地のあり方について意見交換を行い、提案された意見については、随時計画に反映できるよう検討を行っている。



佐伯市中心市街地地区



整備前



整備後

生まれ変わった道路



道路完成に併せた地元主催イベントの様子



まちづくりセンター「よろうや仲町」



調査事業（豊後舟盛祭）



まちづくり協議会の様子